

胃がん検診（胃内視鏡検査）の実施について

令和2年度より新たに胃がん検診（胃内視鏡検査）を実施する予定であり、次のとおり報告する。

1 概要

自治体が、がん検診を行うにあたっての指針にあたる「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」が2016年2月に改正となり、新たに胃がん検診の検査項目として胃内視鏡検査が追加された。

区は、今年度、中野区医師会・学識経験者・区職員をメンバーとした、がん検診精度管理連絡会を発足し、胃がん検診に関する議論を進めてきたが、今般、令和2年度より、胃内視鏡検査を導入する予定となった。

2 令和2年度の検診の対象者

50歳から59歳の区民（令和3年3月31日時点の年齢）で、前年度に胃がん検診を受診していない者（隔年実施）。なお、胃X線検査と胃内視鏡検査の選択制とする。令和3年度以降は、対象者の年齢を拡大する予定である。

3 令和2年度の胃内視鏡検査の開始時期

令和2年12月

令和3年度以降は、6月から開始予定である。

4 自己負担金

2,000円とする（自己負担金免除制度あり）。

5 今後のスケジュール（予定）

令和2年 5月 区報等により、区民へ周知

令和2年11月 胃内視鏡検査申込み開始

令和2年12月 胃内視鏡検査開始

令和3年 2月 胃内視鏡検査終了